

Tajima

地墨自動合わせ

NAVI ナビ

タジマレーザー専用受光器

NAVIレーザー レシーバー2

品番：NAVI-RCV2

取扱説明書

- 本製品は、NAVIレーザーレシーバー対応墨出し器にご使用いただけます。



NAVI/ナビ

レーザーを誘導するナビゲーション機構を内蔵したのがNAVIシリーズです。

受光器を地墨に合わせると、レーザー光はこれを追尾してピタリ一致。そのまま天井に地墨ラインを転写できます。従来の二人作業が一人で可能になりました。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願いいたします。取扱い方法などのお問い合わせは、レーザー相談デスクへ〈0120-933297〉。

お読みになった後は、後日必要になることがありますので、必ず保管してください。

特徴

- 単4形アルカリ乾電池4本で約30時間(受光器使用時)使用可能です。
(ナビ/リモコン使用600回以上)
- 市販の単4形充電電池もご使用いただけます。
- 受光器として
 - 明るい場所でレーザー光が見にくい時や、半径1m~20mまでの広い場所で作業をしたい場合に便利です。
- ナビ/リモコンとして
 - 墨出し器のナビ機能との組み合わせにより、縦ラインの地墨合わせが容易にできます。
 - NAVI TERA機種と組合わせて使用する場合、テラモードでもナビ機能がご使用いただけます。
テラモード時にナビ機能を使用する場合、まず自動的に通常モードに切替わります。
ナビ動作完了後、3秒経過するとテラモードに戻ります。
※テラモードに戻ると受光器は反応しなくなります。
 - 墨出し器をリモコン操作で、水平回転させることが可能です。
KYR・KYタイプで水平ラインを移動させたい時に便利です。
- 本機は防塵・防水仕様となっていますので、屋外での作業にもご使用頂けます。
但し、レーザー受光窓が濡れたまま、汚れたままご使用になると誤測定の原因となります。

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3 **0120-933297**

ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

仕様

品名	NAVIレーザーレシーバー2
品番	NAVI-RCV2
受光距離	1m~20m以内*1
受光精度	レーザーラインの中心から±1.0mm以内*1
ナビ/リモコン使用可能距離・範囲	(水平方向) 1m~15m以内*1 (高さ方向) -1.8m~3m以内*1
防塵・防水性能	防塵・防水設計
電源	単4形アルカリ乾電池 4本
連続使用時間	〈受光器使用時〉約30時間 〈ナビ/リモコン使用時〉600回以上*2
オートオフ機能	無受光の場合、約5分後に自動で電源OFF
電池寿命警告	表示LEDの点滅とブザー音にて警告
外形寸法	タテ170mm×ヨコ52mm×厚み35mm
重量	本体 約230g (電池含む)
使用温度	-5℃~40℃

※1 ご使用になる測定位置、作業環境により異なります。※2 使用条件、使用方法により異なります。

●改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	確認項目
受光の反応をしない	乾電池は消耗していないか 乾電池の入れ方は正しいか レーザー墨出し器本体の電源が入っているか、モードが適切かを確認してください。
レーザーラインのないところで反応する	レーザー墨出し器本体のカバーガラスの汚れを確認してください。 周囲に窓ガラスや金属などの反射しやすいものがないか確認してください。 本体から1m以下の距離で使用していませんか、1m以上離してご使用ください。
ナビ/リモコンが反応をしない	電源スイッチのON/OFF・電池の消耗・電池の入れ方・受光器と墨出し器のチャンネルの正誤を確認してください。 リモコン送信窓は本体に向いているか、墨出し器と受光器の間に遮るものがないかを確認してください。 ナビ/リモコンの使用可能な距離・範囲は測定位置・作業環境により異なります。
全てのLEDの点滅+ブザー音	新しい電池に入れ替えてください。

上記の方法で、解決できない場合は故障です。「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は

修理をご依頼される前に、前述の「故障かなと思ったら」を見て故障かどうかを確認してください。

- 1) 購入時にご記入、保管いただきました「保証書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 2) 本機と「保証書」を運送用外箱に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービスをご利用ください。

保証

○本取扱説明書記載の「無償修理保証規定」をよくお読みください。

■当製品は精密電子部品を使用しています。

外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。お取扱いおよび保管には十分に注意してください。尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

■修理についてのお問い合わせは・・・

タジマメンテナンスセンター

0120-470282

フリーFAX.0120-243324

〈受付時間〉 月曜日～金曜日（祝日・当社指定休日を除く） 8:40～18:00



■製品についてのお問い合わせは・・・

レーザー相談デスク

0120-933297

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～17:30

（平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く）



Tajima レーザーレシーバー無償修理保証書

※裏面の「無償修理保証規定」をよくお読みください。

機種名	NAVIレーザーレシーバー2 (NAVI-RCV2)	
お客様 ご記入欄	お名前 様	
	ご住所 〒	
	TEL. ()	携帯TEL. ()
販売店様 ご記入欄	販売日 平成 年 月 日	保証期間 販売日より1年間
	お名前 様	
	ご住所 〒 TEL. ()	

○お客様から頂いた個人情報については以下の目的で利用させていただきます。

(1) 弊社製品の修理保証を行うため

(2) より良い製品開発のための市場調査のご協力をお願い、弊社製品・サービスのご案内をするため

○個人情報に関するお問い合わせ先 **株式会社 TJMデザイン** 人事総務部 電話:03-3969-6608

※販売店様へ

お客様お買い上げ時、必要事項を記入して、必ずお客様にお渡しください。



本機を正しく使うためのご注意

安全にお使いいただくための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

表示の説明

 **警告** 誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。

 **注意** 誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について  してはいけないことを示す「禁止」表示です。
 必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

安全上のご注意

以下に記載する内容に十分に注意してご使用ください。

警告



禁止

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください
望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
- レーザー光を直接のぞかないでください
- レーザー光路は眼の高さを避けてください
- レーザー光路に立ち入らないようにしてください
- レーザー光路に反射物を置かないでください
- レーザー光を他の人に向けないでください
- 幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。
障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

注意



禁止



強制

- 絶対に分解や改造をしないでください
本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。
- 乾電池を火の中に入れてたり、充電をして使用しないでください
乾電池の液漏れ、発熱、破壊の原因となります。
- 使用しない場合は乾電池を取り出してください
乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となります。
- 使用者への安全教育について
レーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解の上ご使用ください。
- 墨出し器のガラスが汚れていないか確認してください
墨出し器のガラスが汚れていると、レーザー光が拡散し、拡散光によって受光器が誤反応する可能性があります。

使用上のご注意

- 使用前使用後には、必ずレーザー墨出し器本体の精度確認をしてください
レーザー墨出し器に付属の「使用上のご注意」をよくお読みください。
- 強いショックを与えないでください
本機を倒したり、落としたりしないでください。衝撃や振動が加わった場合、精度不良や故障の原因となります。
- 本製品は、タジマレーザー墨出し器専用です
弊社製品の対応機種以外にはご使用できません。
- 故障したまま、本機をお使いにならないでください
すぐに使用を中止して、お求めの販売店または、タジマメンテナンスセンターに修理をご依頼ください。
詳しくは「故障した時は」をご覧ください。
- 濡れたままお使いにならないでください
本機は防塵・防水設計となっています。ただし、雨中での使用や、受光窓の水滴・汚れなどが精度不良の原因となります。必ず、水滴・汚れを拭き取ってからご使用ください。
- 本機は-5℃～40℃の範囲でご使用ください
指定範囲外の温度で使用すると故障および精度不良の原因となる場合があります。
- 結露したままお使いにならないでください
結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してください。
その後電源を入れれば正常に作動します。
何時間たっても作動しない場合は、タジマメンテナンスセンターにご相談ください。
- 次の場合、レーザー光の基準位置を正しく検知できない場合があります
 - 直射日光や強い照明下
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器のそば
 - 窓ガラスや金属・鏡などの高反射面のそば
 - 縦ライン・水平ラインのレーザー光の交差部分
 - 受光器本体がレーザー墨出し器にまっすぐ向いていない
 - 受光器本体が固定されていない
 - テラ・ゼロレーザーとの組合せで使用する場合、レーザー光が強いため拡散光や乱反射などで受光器が誤反応することがあります。

■保管について

必ずケースに入れて保管してください。

■保管場所として、次のような場所には置かないでください

- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
- 冬場の屋外などの低温になるところ
- ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- 急激な温度変化のあるところ
- 湿度の高いところ
- 磁気を帯びたところ
- 振動の多いところ

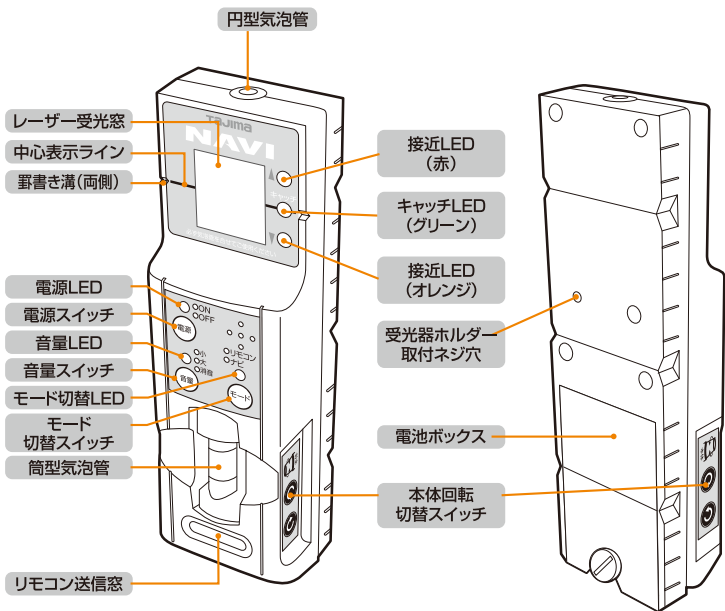
■お手入れについて

- 受光窓が濡れたままであったり、汚れると、精度が悪くなる場合があります。市販のレンズクリーナーできれいに拭き取ってください。
- 本体の汚れは、埃をよく払ってからやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 雨がかかったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

各部の名称



■表示LEDの色とブザー音によりレーザーラインが中心表示位置のどちら側にあるか判別できます。

点灯LED	表示LED色	ブザー音
接近	赤	ピップピップ ピップピップ
キャッチ	グリーン	ピー (連続音)
接近	オレンジ	ヒピヒピヒピ

■音量スイッチにより3モードの切替えができます。

点灯LED	表示LED色	音量
	グリーン	小
	赤	大
	非点灯	消音

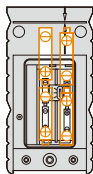
音量

受光器としてのご使用方法



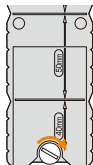
- テラモードでは、受光器を使用できません。
墨出し器本体を通常モードにしてご使用ください。
- 受光器として20mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により、反応がしにくい場合があります。

1 お使いになる前に、電池ボックスに単4形乾電池を4本正しく入れてください。(図1)



(図1)

2 電池フタを閉める際、ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。(図2)



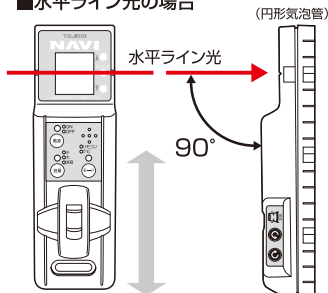
(図2)

3 電源スイッチをONにします。約1秒間ブザー音が鳴り、その間、表示部のLEDが全て点灯します。その後、電源と音量モードのLEDが点灯します。

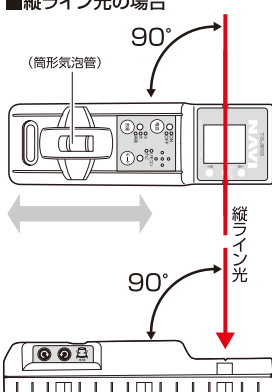
4 受光窓をレーザー光に向け、受光します。受光する場合は、(図3)のようにレーザー光が、中心表示ライン、受光窓に各々90°で当たるようにしてください。

※内蔵の気泡管にて水平をご確認ください。

■水平ライン光の場合

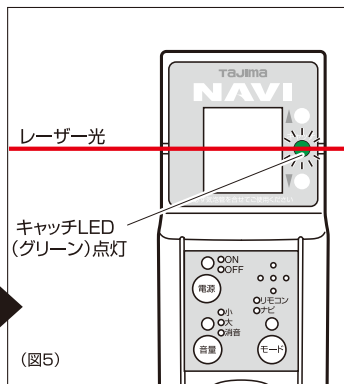
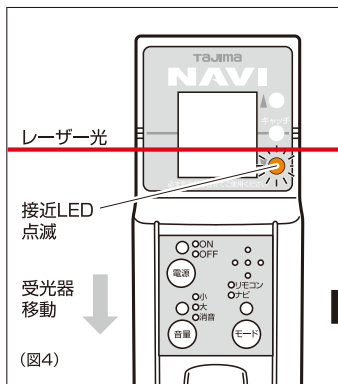


■縦ライン光の場合



(図3)

- 5** 受光窓で、レーザー光を受けると接近LED(赤もしくはオレンジ)が点滅します。(図4)点滅している側の接近LED側にゆっくりと受光器を動かしていくと、キャッチLED(グリーン)が点灯し、連続ブザー音が鳴ります。その位置がレーザー光の中心位置です。(図5)



- 6** その位置で受光器上の気泡管で水平を確認し、受光器が動かないようにしっかりと固定し、罫書きを行なってください。
(この時、キャッチLED(グリーン)は点灯し、ブザー音は鳴り続けています。)



注意

- 必ず受光器が水平になるように気泡管を合わせて使用してください。
- 罫書き後の墨付け精度は①～③を全て加えたものです。

①レーザー墨出し器本体のライン精度

+

②受光器の受光精度

+

③作業者の墨付け精度

- レーザー墨出し器本体のライン精度よりも大きくなります。

リモコンとしてのご使用方法

NAVIレーザー墨出し器本体を、遠隔操作で回転させることができます。

〈水平ラインの場合〉

1 墨出し器本体の水平ライン・ナビ機構部の電源を入れる。

2 受光器の電源を入れ、リモコンモードになっていることを確認する。

3 受光器を図のように墨出し器本体に向け、本体回転切替スイッチを押す。墨出し器本体が回転します。

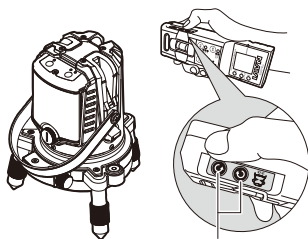
※回転させたい方向のスイッチを押してください。

4 レーザーラインが使用したい位置に来たら、もう一度本体回転切替スイッチを押す。墨出し器本体の回転が止まります。

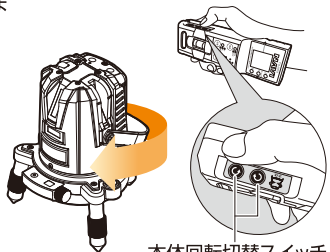
電源LED点灯



モード表示LED非点灯



本体回転切替スイッチ



本体回転切替スイッチ

!
注意

■リモコン使用中は、受光窓やリモコン送信窓を遮断、遮蔽しないでください。誤動作を起こす原因となります。

■チャンネル切替については墨出し器本体の取扱説明書をご覧ください。

ナビ機能のご使用方法

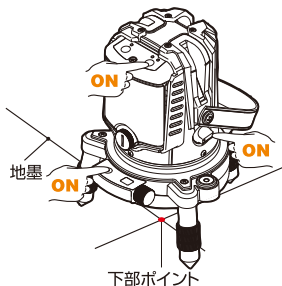
NAVI墨出し器本体のナビ機能との組み合わせにより、自動的に縦ラインの地墨合わせができます。

- 1 墨出し器本体の電源ロックスイッチをONにし縦ラインを出射する。ナビ機構部の電源を入れる。

- 2 墨出し器の下部ポイントを基点となる地墨に合わせる。

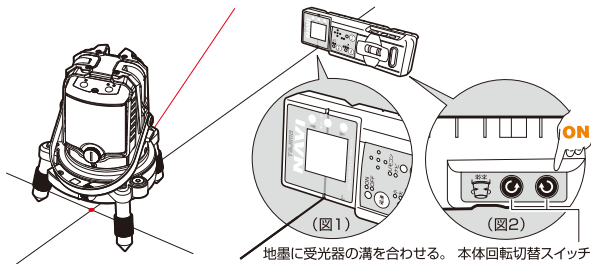
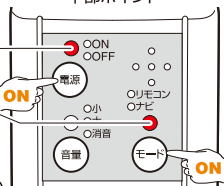
- 3 受光器の電源を入れ、ナビモードにする。

- 4 受光器を合わせたい地墨ライン位置に置く。(図1)受光器側面の本体回転切替スイッチを押す。墨出し器本体が回転し始めます。(図2)



電源スイッチON/赤色LED点灯

モード切替スイッチON/赤色LED点灯



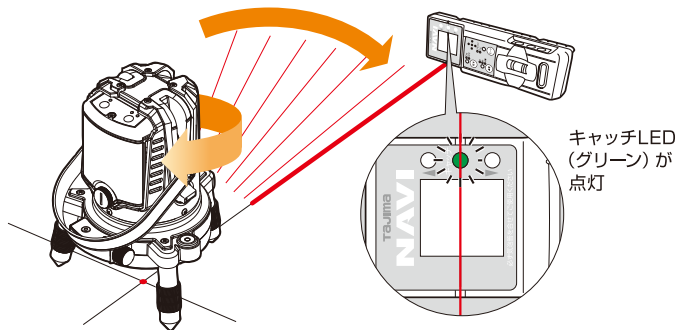
地墨に受光器の溝を合わせる。本体回転切替スイッチ

※回転させたい方向のスイッチを押してください。

注意

- NAVI TERA機種と合わせて使用する場合、テラモードでもナビ機能がご使用いただけます。
 - テラモードでナビ機能を使用すると、ナビ動作完了3秒後にテラモードへ自動的に戻ります。
- ※テラモードに戻ると受光器は反応しなくなります。

- 5** レーザーラインが受光窓に入ると接近LED(赤もしくはオレンジ)が点灯し、自動的に微調整を開始します。
レーザーラインが受光窓の中心に来るとキャッチLED(グリーン)が点灯し、3秒間連続で点灯すると“ピーッ”と音が鳴り墨出し器の回転が止まります。



- 6** 墨出し器の回転が止まり、キャッチLED(グリーン)が継続して点灯することが確認できたらナビ動作完了です。



注意

- ナビ動作開始後は、受光器の向きを上下反転させないでください。
- ナビ動作中は、受光窓やリモコン送信窓を遮断、遮蔽しないでください。誤動作を起こす原因となります。
- ナビ動作を連続して繰り返した場合、自動的に初期設定動作を行う場合があります。内部モーターの制御範囲を超えたため、再度初期設定動作を行っています。動作終了後通常にご使用いただけます。
- ナビ/リモコンとして15mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により、反応しにくい場合があります。
- 屋外でのご使用时、特にレーザー受光窓に直射日光が入る場合や近くに強い照明がある時など、距離が著しく短くなる場合があります。

タイムアウト機能

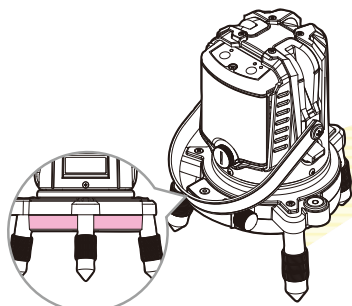


注意

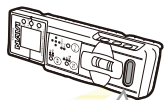
- 墨出し器と受光器の間の赤外線通信を遮断してしまうとタイムアウトの原因となります。
- ナビ動作中に、受光器を動かしたり、受光器のリモコン送信部、墨出し器のリモコン受信部を手などでふさいだり、墨出し器と受光器の間に物を置いたりすると、赤外線通信が遮断され、ナビ動作完了が妨げられ、タイムアウトとなります。

- NAVIレーザーは、ナビ動作開始時から約60秒間で動作が完了しなかった場合、自動的にナビ動作を停止する機能を備えています。(タイムアウト機能)
- タイムアウト時は、正しいキャッチ位置で動作が終了していない事をお知らせするために、墨出し器本体が左右に回転した後、キャッチ位置とはズレた場所(※)でレーザーラインが止まるように設定しています。(ナビ/リモコン電源スイッチ部LED高速点滅)
※ラインのズレ幅は、約45°となります。
- 受光器についても「ピッピッピッ」と3回音を鳴らし、本体より若干早くタイムアウトとなります。

この空間で赤外線通信を行うので、「ナビ動作が完了するまで」赤外線信号を遮らないでください。



リモコン受光部



リモコン送信部

無償修理保証規定

- ①取扱説明書に従った方法で保証期間内に故障した場合は、無償で修理させていただきます。
- ②お客様の過失による故障、損傷についても保証期間内に限り無償修理いたします。ただし、部品交換が発生した場合の部品代は、お客様の負担とさせていただきます。
- ③当社の指定する製品を新品でご購入された場合に限り有効です。中古販売品やリサイクル品、転売品は対象外です。付属品については対象外です。
- ④お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、登録販売様にて本保証書に記載された販売日より 1 年後の同月同日正午までの保証が発効されます。
- ⑤保証期間内でも下記の場合は有償修理とさせていただきます。
 - (イ) 本保証書がない場合
 - (ロ) 本保証書に記入漏れがある場合
 - (ハ) 製品を分解した場合、およびその形跡が認められた場合
 - (ニ) 弊社以外での修理や改造による故障及び損傷の場合
 - (ホ) 地震、火災、水害などの天災、戦争などの人災により生じた故障及び損傷の場合
 - (ヘ) ケース及びその他の付属品、別売品、消耗品（電池等）の場合
- ⑥本保証書は、お買い上げ品の修理をお約束するもので、本製品の故障または使用による損害については、当社はその責を負いません。
- ⑦この製品の保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in JAPAN)
- ⑧保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。